

質問書に対する回答

No.	質問事項	質問内容	回答
1	様式第1号 様式第6号	様式第1号や様式第6号に記載する事業所名、代表者名については本社、社長ではなく、坂井市と契約権限を有する受任者（坂井市競争入札参加資格者名簿記載者）で宜しいでしょうか。	実施要領(3)の参加要件（坂井市の一般競争入札有資格者名簿に登録がある等）を満たす事業所名、代表者名をご記載ください。
2	様式第3号	様式第3号について、※1に「参加資格となる、過去5年以内に」と書かれており、一方3参加要件の(9)には「過去3年以内に」と書かれています。どちらの記載が正しいでしょうか。	実施要領(3)の参加要件を正とします。回答に合わせて様式第3号を修正しましたのでご確認ください。
3	様式第3号	様式第3号業務実績書に記載する記載実績に上限はありますでしょうか。	上限はございません。
4	様式第3号	「記入欄が不足する場合は複写して作成」とあるが、行を増やして対応してもよいか。また、枠の横幅は適宜変更してもよいか。	問題ありません。
5	様式第3号	参加資格要件である「再生可能エネルギー、温暖化対策分野での計画策定業務」「地域に根差した再生可能エネルギー、脱炭素に関する再エネ事業の支援業務」と、加点項目である「ゼロカーボンや温室効果ガスに関する事業」「市との包括連携協定に基づく地方創生等に係る取り組み実績」は、ひと目で分かるような工夫をするべきか。混在していてもよいか。	審査対象となりますので実績となる業務、事業が明確になるよう記載願います。
6	様式第3号	「包括連携協定に基づく地方創生等に係る取り組み実績」については、弊社が直接自治体と包括連携協定を結んで事業を実施している必要があるのか。それとも、包括連携協定を締結した企業を支援する形で弊社が事業に取り組んだものについても記載してよいか。	市との包括連携協定に関連する事業として記載可能です。
7	様式第4号	様式第4号業務実施体制に記載する保有資格について、資格証の添付は不要と考えてよろしいでしょうか。	資格証の写しの添付を願います。回答に合わせて様式第4号を修正しましたのでご確認ください。

8	様式第4号	管理技術者、照査技術者、担当者を選出するにあたり、それぞれ必須条件（資格、年数等）はあるか。	資格、年数等の必須条件はありません。
9	様式第4号	最終学歴はどの程度記載するのか。（「取得学位まで記載」「卒業大学名まで記載」「卒業学科等まで記載」等）	卒業学科まで記載願います。
10	様式第6号	企画提案に必要となる書類については、様式第6号および参考見積書及び内訳書を除いて総ページ10ページ以内という認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
11	様式第6号	様式第6号の1について、横書き、縦書き、A4およびA3版等の指定はございますでしょうか。	A4版での作成とします（横書き、縦書きは問いません）。
12	様式第6号	企画提案書は「すべて10部提出とする」とあるが、様式第6号及び見積書については押印済み原本が10部必要か。1部正本とし、残9部は写しでもよいか。	様式第6号及び見積書については原本1部の提出とし、様式第6号の1について10部提出願います。
13	様式第6号	企画提案書の様式第6号の1にはあらかじめ章立て（+ポイント）が記載されているが、あらかじめ記載されている章立てを遵守して、補足資料がある場合は補足するという理解で良いか。それとも、これらはあくまで目安とし、自由に構成しても良いのか。	様式第6号の1に記載されている内容が含まれていれば構成は自由とします。
14	様式第6号	プレゼンテーションの際は、別途企画提案書の内容に基づいたPowerPoint等の準備する必要があるか。	審査会でのプレゼンテーションは提出された企画提案書（様式第6号の1）に基づき行うものとしますがPowerPoint等プレゼンテーションの手法は問いません。
15	全般	参考見積書の妥当性とは企画提案内容に対する見積価格が妥当であるかを評価され、金額が低いほど配点が高いということではないと理解してよろしいでしょうか。	最低提案価格を基準価格とし、金額が低いほど配点が高くなるよう配分します。
16	全般	本事業の期間内にパブリックコメントの実施期間を見込む必要があるか。必要がある場合は何週間程度の期間を想定しているか。	本事業にはパブリックコメントの実施を含めません。